

投稿

享受写汉语诗歌的生活

かんし たの く
漢詩を楽しみ暮らし



这次给大家介绍一位以写汉语诗歌为生活乐趣的遗华日本孤儿---S 先生。S 先生给中心寄来了几首，还非常谦虚地说道：“鄙人的拙作，献丑了。”后来，我有机会亲自见到了他本人，得知了一些情况。他现在住在西日本的一个风光明媚的地区。

S 先生 1944 年，两岁的时候随同加入开拓团的父母去了满洲。第二年战败，跟着母亲漂泊了两年左右，期间丧失了妹妹。之后，他和母亲住进了一对夫妇家里。夫妇俩没有孩子，母亲为当家的主人生了三个孩子。

他是用自来水毛笔写的诗歌寄给本中心的，然而他并没有受过多少学校教育。

在他的人生当中的第一本书，就是和母亲一起寄身投靠的养父母家里的《圣经》。后来，常去一个离家约 500 米的图书馆，一位好心的馆员把书借给他看，有不明白的地方就去问那位馆员，一点儿一点儿地记住了一些字。他还说，农闲时夜间举办“识字班”，他也凑进大人堆儿里跟着学，探过头去瞅一眼大人们用的课本。

不久，一个邻居家的孩子妈妈发现小 S 没上过学就能识字，便说服养父让他去上学，因为他是个勤奋好学的孩子。养父虽然答应了让他上学，但不给他拿学费，他只好靠捡煤渣卖钱来充当学费。

今回は漢詩を作るのを楽しみに暮らしている残り孤児 S さんをご紹介します。S さんは「つたない漢詩だけれど」と言いながら何篇か漢詩を送っていただきました。その後直接お会いする機会があり、お話を伺うことができました。現在、西日本の風光明媚な地区にお住まいです。

S さんは 1944 年に開拓団に加わった両親に連れられて、2 歳で満洲に渡りました。翌年に敗戦となり、母と 2 年あまり放浪生活を送る中で妹を亡くしました。その後母と共に、ある夫婦の家に入ります。夫婦に子どもがなく、母は、その家の主人のために子どもを 3 人産んだそうです。

筆ペンで漢詩を書いて送ってくださった S さんですが、十分に学校教育を受けられたわけではありませんでした。人生の最初に手に取った本は、母と身を寄せた養父母の家にあった「聖書」。その後、家から 500 m ほどの所にある図書館に通い、好意的な職員から本を貸してもらい、わからないところがあれば職員に尋ねて文字を少しずつ覚えしました。また、農閑期の夜に開かれる「識字教室」にもぐり込み、大人たちの間で教科書を見せてもらいながら学習したといいます。

そのうち近所の子どもが母親が、S さんが学校に通っていないのに文字が読めるのを知り、向学心のある子どもだから学校に行かせるようにと養父を説得してくれました。学校に通う許可は出たのですが、学費を出してもらえないため、S さんは石炭クズを拾ってお金に換え、学費に当てました。

小学毕业后，他由一个干苦力活儿的工人晋升到厂里的出纳员，虽身为日本人还担当过青年团书记的职务。

1988 年回到日本后，由于体弱多病，生活得不是那么随心所欲，但他把日常生活中身边的事作为题材，写了好多诗歌，有赞美祖国日本美丽风光的，也有抒怀上日间护理服务时的喜悦和对工作人员感谢的等等。

这次将介绍他的两首诗，一首是为庆祝孙女结婚作的诗，一首是咏赞日间护理服务情景的诗。

しょうがっこう を出た後は にくたいらうどう を経て、こうじょう 出納係に就き、にほんじん 日本人としては 珍しい せいねんだん 青年団の しょき もつと 務めました。

1988 年の帰国後は、病気がちで思うような生活がでなかつたと言いますが、故郷日本の美しさや、デイサービスに通う日々の楽しさとスタッフへの感謝など、日々の生活の中の身近な話題で何篇もの漢詩を書いています。

今回はお孫さんの結婚を祝って作った詩と、デイサービスの様子をうたった詩を紹介します。

大婚之喜

日月増輝 歳月転
夫妻和睦 朝夕容
山関海勢 互纏線
終生伴侶 更情濃

めでたき日に

日に日に輝きをまして ついに今日の日を迎えた
夫婦仲良く 毎日を笑顔で過ごそう
山と海が離れることなく 寄り添うように
命尽きるまで互いに愛情を深めあってほしい

祖父より 2022 年 10 月 10 日

カーリン カーリン

第二家园 松怀舒触
持重安全 车接车送
帮提包裹 勉体负重
服务体面 不针烦庸
茶饭可口 因人而异
清洗助浴 代疗愈痛
游戏娱乐 满堂笑声
早晚体操 增强体能
待老如亲 缘似亲情
カーリン 老人之园

カーリン カーリン

第二のわが家カーリンは 居心地よくて気楽なところ
安全第一 心を配り 車で迎えて送られる
カバンがあれば 持ってくれ 年寄りいたわるその心
至れり尽くせり 嫌な顔一つせず
ご飯はおいしく 一人一人に合わせて出され
お風呂も安心 洗ってもらい 病気も痛みも癒される
ゲームに遊び 部屋に溢れる笑い声
朝夕二回の体操で ますます元気になったよう
年寄りだからと嫌がらず 身内のようにあたたかい
第二のわが家カーリンは 高齢者の楽園です